

尾瀬の光と影

～ 健全な自然を次世代に伝えよう ～



尾瀬は山紫水明の国立公園であり、生き物の宝庫です。しかしその足跡は、保護派と開発派とのバトルの歴史でした。2つの国策であった尾瀬のダム化と尾瀬縦貫観光道路計画を辛うじて排除した尾瀬は、今でも貴重な絶滅危惧種を含む生き物が多く生息しています。本日は尾瀬のいまの姿をお伝えするとともに、併せて保護活動を通じて垣間見えた尾瀬内の「ほころび」や自然環境の変遷、政策や行政の方向性についても一緒に考えます。

出演：大山 昌克(おおやま まさかつ)

NPO 尾瀬自然保護ネットワーク 副理事長

日時：令和7年5月14日(水)

午後1時30分～午後3時30分

(開場：午後1時)

会場：武蔵野スイングホール (スイングビル2階)

武蔵野市境2-14-1 (武蔵境駅北口から徒歩2分)

入場料：無料 当日直接会場へ (定員 170名・先着順)

問合せ：武蔵野市老壮連合会 鈴木 090-7301-1989

武蔵野プレイス 30-1901 (休館日:水曜日)

共催：武蔵野市老壮連合会・武蔵野市教育委員会

